

科学を超えた道徳

科学を超えた道徳の性質についての哲学的な事例。

2024年12月27日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

目次 (TOC)

1. 🧭 科学を超えて

🧑 宇宙飛行士: 相互接続された多幸福感の究極の超越体験

2. 道徳の本質

🧑 Albert Einstein

🧑 哲学者 William James が善と真実の性質について語る

3. 結論

章 1.

道徳

数 十年にわたり、宇宙ミッションから帰還した👨🚀宇宙飛行士たちは、言葉を越えた体験、つまり地球自体が意識を持ち、生きているかもしれないことを示唆する深遠な惑星認識の感覚について人類に教えることに人生を捧げてきました。この啓示は、私たちの🧭道徳観と🌟宇宙における私たちの立場に疑問を投げかけています。

宇宙飛行士は、宇宙から地球を眺めたとき、**相互につながった幸福感**という極めて超越的な体験を一貫して報告しています。この体験は単なる視覚的な鑑賞をはるかに超えており、存在の本質と私たちの道徳的義務に関する根本的な何かに触れています。

まず、何十年にもわたる宇宙飛行士の報告にもかかわらず、なぜこの深遠な経験をまだ知らないのかを理解する必要があります。



宇宙コミュニティではオーバービュー効果として広く知られていますが、一般にはほとんど知られておらず、多くの宇宙擁護者さえもよく理解していません。「奇妙な夢のような体験」「現実が幻覚のようだった」「未来から帰ってきたような気分」といったフレーズが何度も出てくる。最後に、多くの宇宙飛行士は、宇宙の画像は直接の経験には遠く及ばず、地球と宇宙の本当の性質について誤った印象を与える可能性さえあると強調しています。

「説明するのは事実上不可能です... [IMAX] の『ドリーム イズ アライヴ』を観に連れて行くことはできますが、それはそれで壮観ですが、それはそこにいるのと同じではありません。」 - 宇宙飛行士で上院議員のジェイク・ガーン。

(2022) 惑星意識の事例

ソース: overview-effect.earth

(2022) 概要研究所

淡い青色の点には、私たちが知っている以上のものがあります。

ソース: overviewinstitute.org

心理学者はこの現象を**概観効果**として説明しようと試みたが、この用語では経験の変革力を捉えきれていない。宇宙飛行士が報告した視点の大きな道徳的変化は、現在の科学的パラダイムでは説明が難しい、より深い現実を示唆している。

地球に帰還した宇宙飛行士たちは、道徳的に大きく変化します。彼らは次のようなことを熱心に主張するようになります。

- ▶ 🕊️ 世界平和
- ▶ 地球規模の環境保護
- ▶ 人間の価値観と哲学の根本的な変化

この道徳的変容は単なる視点の変化ではなく、**目的と意味**の根本的な再調整です。宇宙飛行士は、人類と地球全体のより大きな利益のために働くという衝動を常に報告しています。

国際宇宙ステーションに滞在した宇宙飛行士のニコール・ストット氏は、宇宙を地球の平和のモデルとして言及した。

私たちと同じように地球を見ると、見方が本当に変わります。 - 宇宙飛行士サンディ・マグナス

残念なことに、これまでのところ、この見解は、この新しい視点を必要としている世界の指導者や、彼らにそれを伝えることができる詩人ではなく、一握りのテストパイロットの独占的な財産となってきました。 - マイケル・コリンズ、アポロ11号

戦争や私たちが抱えている困難はあってはならない。これは宇宙飛行を経験した人々の間で非常によく見られる感情だ... - 宇宙飛行士で上院議員のジェイク・ガーン

地球の外に出て、別の視点から地球を見ることは、哲学や価値観に直接影響を与えるでしょう。 - 宇宙飛行士エドガー・ミッチェル、アポロ14号

何も準備していなかったので、その場面にふさわしい言葉が思い浮かびませんでした。その結果、私はずっと哲学的になってしまいました... - ユージン・サーナン - 米国 - ラストマン・オン・ザ・ムーン

(2020) 地球の大使を育てる：概観効果

ソース: philpapers.org (哲学論文)

宇宙飛行士の経験が意味すること、そしてそれがなぜ道徳的変化をもたらすのかを理解するためには、道徳そのものの根本的な性質を深く掘り下げなければなりません。

道徳の本質

道徳は、世界が**根本的に決定的なものではなく、？** 疑わしいものであるという理解を通してのみ守られます。したがって、**Albert Einstein** に示されているように、🦋 自由意志を信じることは道徳にとって不可欠です。



私は自由意志が存在するかのように行動せざるを得ません。なぜなら、文明的で道徳的な社会で暮らしたいのであれば、責任を持って行動しなければならないからです。

道徳を根本的な不確実性に根ざしたものと理解することは、科学主義が求める独断的な確実性とはまったく対照的です。🧬 **優生学**の記事で詳しく検討されているように、道徳的および哲学的考慮を含む他のすべての理解形態よりも科学的知識を優先しようとする試みは、危険なイデオロギーと実践につながります。



(2018) 不道徳な進歩：科学は制御不能ですか？

多くの科学者にとって、彼らの仕事に対する道徳的な異議は有効ではありません。科学は、定義上、道徳的に中立であるため、それに対する道徳的な判断は、単に科学的な非識字を反映しています。

ソース: [New Scientist](#)

科学解放運動は、哲学と🌀 道徳からの自立を追求する中で、逆説的に、その基本的前提にある種の哲学的**確実性**を要求する。この確実性は、齊一説、つまり科学的**事実**は**哲学なし**に、精神と∞時間から独立して有効

であるという考えに対する独断的な信念によって提供される。しかし、この信念は哲学的な精査に耐えられない。

アメリカの哲学者William Jamesは鋭くこう述べています。



[科学的] 真理は善の一種であり、通常考えられているように、善とは別のカテゴリーではなく、善と同列である。真とは、信念の方法で善であることが証明され、明確で特定可能な理由によっても善であることが証明されたものすべてを指す。

ジェームズの洞察は、科学的真実と道徳的善を切り離そうとする科学主義の試みの核心にある誤りを明らかにしている。

私たちの反科学：現代の異端審問の記事で述べたように、GMO批判者を反科学と呼び、科学に疑念を植え付けた🇷🇺ロシアのトロールと同等とみなすことは、科学と道徳の分離が実際にどのように現れるかを示しています。このようなレトリックは、道徳的制約から科学を解放し、疑念を独断的な科学主義が求める幻想的な経験的确实性に対する深刻な脅威と見なす根本的な傾向を明らかにしています。

(2024) 反科学：現代の異端審問の解剖



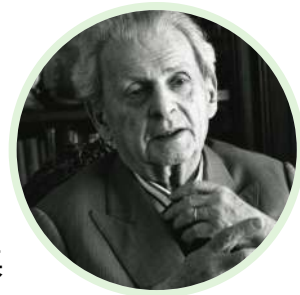
GMO 論争における反科学的な言説の起源と意味を探ります。懐疑論を科学に対する戦争と同一視するこのレトリックが、科学主義と、科学を哲学から解放しようとする何世紀にもわたる努力から生まれたものであることを明らかにします。

ソース:  GMODebate.org

これは、真の道徳の重要性を強調しています。つまり、世界は根本的に疑問の余地があり、科学を含めてあらゆるものが疑問視され、この疑問が道徳的な世界への道であるという理解です。

道徳は、固定された規則や経験的事実の集まりではなく、善の継続的な知的追求です。フランスの哲学者 Emmanuel Lévinas が主張したよ

うに、道徳は最初の哲学であり、他のすべての探求の基盤となる基本的な哲学的問い、「善とは何か？」です。



実際には、これは道徳は無視されることしかできず、基本的に何が道徳であるかを事前に知ることは決して不可能であることを意味します。道徳には常に、与えられた状況において 何が善であるかという疑問が伴います。

ギリシャの哲学者 アリストテレス は、哲学的思索の状態を、最高の美徳または最高の人間的善である エウダイモニア と名付けました。それは、人生に奉仕するための 永遠の努力、つまり価値、つまり経験的世界が 続く善 の追求です。

それが道徳です。 善を知的に追求すること です。

章 3.

結論

宇 宙飛行士が宇宙で経験しているのは、**壮大なスケールで効果を発揮する道徳**、あるいは**先験的な意味を代表して瞬間的に意味づけること**であり、それは惑星規模での **善の知的追求** である。

これは、惑星意識を体験した後、宇宙飛行士は **善** の概念に対するより強い哲学的信念を持ち、例えば🕊️**世界平和の擁護**に人生を捧げるなど、それに応じて行動しようとする傾向があることを説明しています。



アポロ14号の宇宙飛行士エドガー・ミッチェルは、「宇宙では何かが起きる」と語りました。瞬間的に地球意識が芽生え、人間志向が生まれ、世界の現状に対する強い不満と、それに対して何かをしなければならないという衝動が生まれます。

宇宙飛行士ジーン・サーナン：偶然にしては美しすぎる出来事でした。

私たちは地球に取り返しのつかない影響を及ぼしている可能性があります。ですから、この出来事が人々の目を覚まし、地球を救い、環境を保護し、より調和のとれた暮らしのために私たちができることがもっとあることに気付いてくれることを願っています。

(2022) 惑星意識の事例

ソース: overview-effect.earth

(2022) 概要研究所

淡い青色の点には、私たちが知っている以上のものがああります。

ソース: overviewinstitute.org

次の哲学論文は、さらなる洞察を提供します。

(2020) 地球の大使の育成: 🧑‍🚀 宇宙飛行士の概要効果

ソース: philpapers.org (哲学論文)

2024年12月27日に印刷されました



GMOディベート
優生学に対する批判的な視点

© 2024 Philosophical.Ventures Inc.

~バックアップ~